



## 「冬のまちにスノーキャンドルの灯をともしよう！」のようす

2016(平成 28)年 1 月 24 日(日)、「冬のまちにスノーキャンドルの灯をともしよう！」が行われました。

当日は風もなく穏やかで絶好のキャンドル日和。

午後 1 時半、「レストハウス」から展望台下にかけての道沿いにバケツで作る「スノーキャンドル」を並べる作業を開始。

今年は事前に作っておいた「アイスキャンドル」も登場。

2 時間ほどでキャンドルの設営を終え、あとは点かを待つだけ。

午後 4 時半、ほのかな夕焼けのもとに一齐点灯。

薄暮の青い雪の中、オレンジの炎がきれいにゆらめき始めました。

午後 5 時に暗くなると、東の低い空に大きな月。

ちょうどこの日は満月、キャンドルと月そして夜景のコラボに感動。

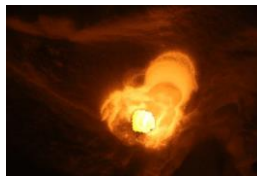
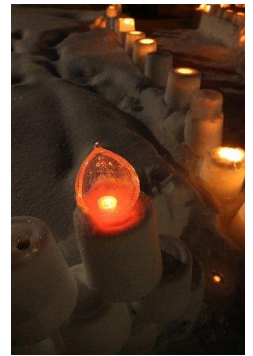
雪もまったく降らず、風がないためキャンドルの炎はほとんど消えることなく午後 6 時に炎が消されました。

阪神淡路大震災からの復興と犠牲者への追悼から始まった「スノーキャンドル」の催し。

今年も、炎が、そして人の輪がつながりました。

当日参加された方々ありがとうございます。

そしてスタッフのみなさまお疲れさまでした。



## 「早朝野鳥観察会」3月5日(土)

「早朝野鳥観察会」●3月5日(土) 7時開始 参加費 100 円(保険代として)

※2 月は公園内でクマガエラの声を聞くことができました。3 月も比較的良好園内に現れる時期です。

## 「スノーシュー自然観察会」2月20日(土)

「スノーシュー自然観察会」2 回目の 2 月は、「冬でも凍らない赤い池」を見に行きます。

●2月20(土) 10時開始 参加費 100 円(保険代) ※スノーシュー貸出します(イベント参加者無料)。

■スノーシュー貸出 1 回 100 円 土日祝「森の家」開館日はいつでもご利用できます。

## 「旭山冬のフェスティバル 2016」近づく！ 2月11日(木・祝)

「旭山冬のフェスティバル 2016」●2月11(木・祝) 9時半受付、10時プログラム開始

プログラム＝「スノーシュー自然観察会」(夏には近づけない公園内の「谷」を見に行きます)

「イグルー作り」「雪遊び」「自然素材のクラフト」「餅つき体験」※14 時半終了

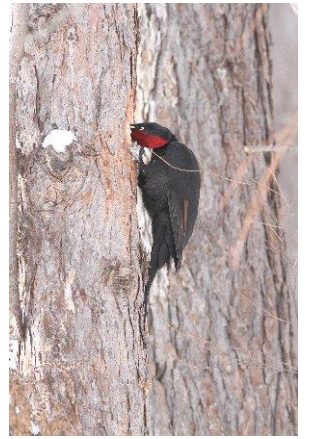
参加費:大人 200 円 小中高生 100 円 未就学児無料 ※豚汁 100 円 受付時にお申し込みください。

事前申し込み不要、当日直接「森の家」までお越しください。

# 2016 年 1 月の野鳥の動き

1 月の旭山の野鳥の動きをまとめてみました。

- ギンザンマシコ:一度だけ 1 羽が旭山に現れました。
- ハギマシコ:円山公園で出ましたが旭山には来ませんでした。
- ヒレンジャク:1 月 5 日まで 50 羽程の群れがいましたが以降確認していません。
- ツグミ:数羽が滞在し展望台のハマナスの実を食べることもありました。
- シメ:「シリッ」「チッチッ」という声がよく聞かれますが木の上にいることが多いです。
- ウソ:数羽で「フィッ」と鳴き声を比較的好く聞かれますが近くではあまり見られません。
- クマゲラ:このひと月は園内でよく見られました。
- オオアカゲラ:雌の個体が頻度は下がりましたがまだよく来ています。
- ヤマゲラ:「ピョピョピョ」と大きな声を聞くことが増えてきました。
- カケス:2 羽か 3 羽が引き続きよく見られます。
- キクイタダキ:展望台及び「ミュンヘンの森」の針葉樹で時々見られます。
- エナガ:引き続き数羽の群れが日に何度か見られます。
- ゴジュウカラ:「フィーフィー」と長く鳴く囀りが聞かれるようになりました。
- ハシブトガラ:年末から囀りが本格化し聞くことが多くなりました。
- ヤマガラ:「チーリーツー」とワルツの囀りが聞かれるようになりました。
- ヒガラ:「ツピーツツピーツ」と囀りが聞かれるようになりました。



↑クマゲラ雄

↓カケス(亜種ミヤマカケス)



## 「生物多様性さっぽろビジョン」

札幌市では、生物多様性の基本となる「生物多様性さっぽろビジョン」を策定しました。

生物多様性について、札幌市のホームページから引用します。

- 「生物多様性」とは、多種多様な生き物が存在し、それらが互いにつながりを持っていることを表す言葉です。この生き物たちのつながりにより、地球上では豊かな生態系が保たれています。■

身の回りにたくさんの生き物がいると、人間の心も豊かになりますよね。

もちろん人間のために生物の命があるわけではないのですが、一方で、人間活動によりある生物の居場所が狭まったり生物そのものがいなくなるということも、悲しいかな、現実として起こっています。

人間活動が自然環境に及ぼす悪影響をなるべく少なくしたい、という思いが「生物多様性さっぽろビジョン」にこめられているものと解釈しています。

ベニバナイチヤクソウ(6月)→

そのためにはどうしよう？

まずは自然を知ること、知らないと考えることができないですからね。

旭山記念公園でも、野鳥を含めた自然観察会を通して、まずは身近な自然を「知る」ことに対して微力ながらも協力し応援してゆきたいと考えています。

難しいことは要りません、まずは自然を見て感じる機会にぜひご参加ください。

「アカゲラ通信」も今年は、紙幅の許す限り「生物多様性」を話題にしてゆきたいと思います。



## 編集後記

先月号で「雪が少なめで寒い冬」になってほしいと書きました。

去年は 2 月の気温が高くて木々の出が早く、5 月に野鳥が観察しにくかったためです。

今の「雪が少なく寒い冬」になってきています(雪は少なすぎかもしれないですが)。

今月このまま推移してくれれば、5 月は夏鳥の観察がしやすくなりそうです。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第 26 号 2016 (平成 28) 年 2 月 6 日発行

発行: (公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所: 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川 4 丁目

連絡先: 電話 011-200-0311 (土・日・祝日 10 時~16 時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>